

# 里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

## 「町民の皆様、本当にお世話になっております」

町民の皆様には、教育行政の推進にあたりまして、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。本年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響から、様々な事業を変更したり中止したりすることがありましたが、次第にコロナ禍前の状況に近づけるように、工夫しながら開催できた行事が多くありました。町民の皆様方のご協力により、参加いただいた方の笑顔や元気な姿を拝見でき、本当にありがたく思います。

また、幼稚園、小学校、中学校でも、学校・園行事に少しでも多くの保護者の方に来ていただいて開催できるようになってきました。修学旅行も県外へ宿泊を伴って実施できております。子どもたちの元気な姿を、校内だけでなく、校外でももっと見られるようになり、地域の皆様にも見ていただけるようになることを願っております。

本紙は、今年度行った教育委員会の事業の一端をお知らせいたします。紙面の関係で掲載できませんでしたが、文化ホール事業として、夏休み子ども劇場や陸上自衛隊のコンサートなども、多くの観覧者にご来場いただいて開催できております。これからも、教育委員会の職員一同が一丸となって、町民の方をはじめ、お越しいただく全てのお客様に、笑顔でお帰りいただけるような催し物を企画していきたいと思っております。

次第に新型コロナウイルスの取り扱いが変更されるようなニュースも聞かれますが、国からの情報をしっかりと精査しながら、教育委員会としても取り組みを進めていきたいと考えています。地域の皆様方をはじめ、各種団体や町内企業の方々に、積極的に講師やボランティアとして参加していただき、子どもたちの支援をお願いしたいと考えております。

引き続き、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるよう、学校・園、家庭、地域との連携を深めていきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(文責:事務局長 小寺 大輔)

## スマートフォン・ゲームの適切な利用について

里庄町教育委員会では、町、学校、PTAと連携して、子どもがネット上のいじめや犯罪に巻き込まれないようにするために、町全体でスマートフォンやゲームの使用についてのルールづくりを推進しています。

里庄町の統一ルールとしては、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。特に、スマートフォンやゲームを持ち始める時に、ルールを守る環境をつくった上で、使うことが大切になります。お子様が持ち始める時に、親子でしっかりと話し合い、ペアレンタルコントロール（利用時間制限、アプリの制限等）を活用して、親子でしっかりと話し合ってルールづくりを進め、安全・安心に日々が送れますように、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(教育長 杉本 秀樹)

※裏面に関連記事があります。

## 里庄町「生きる力」向上プロジェクト「さとしょう未来塾」

将来を担う子どもたちの「生きる力」の向上と地域主体のまちづくり・地域で子どもを育てる地域教育力の向上を図っています。

◇対象 小学4年生から中学3年生（原則）

◇内容 ①自学自習の寺子屋事業

②様々な体験学習事業

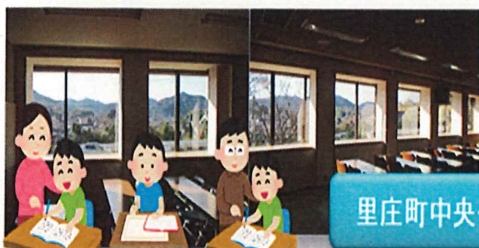
◇運営 地域住民やボランティアスタッフの協力により運営

- 地域教育力・社会教育力の向上
- 子どもの「生きる力」の育成
- 地域との交流・人と人(世代間)との交流・子ども同士の交流
- 地域人材の活用(役割の提供、まちの活性化)



「まち」を支える「地域」と「子ども」が主役に

### ☆さとしょう未来塾を支える2本の柱



里庄町中央公民館

#### ① 里ちゃん寺子屋

- ◇目的 子どもたちの居場所づくり  
学習の習慣化（自学自習）  
学区の異なった子ども同士・地域住民との交流
- ◇内容 毎月1回、土曜日の午前中（9時～11時）  
場所は里庄町中央公民館  
5月から翌年3月まで10回実施  
自学自習を基本。
- ◇運営 地域住民・ボランティア等が関わる。



町内各地

#### ② 里ちゃんチャレンジ・ワールド

- ◇目的 体験活動を通して、子どもたちに「生きる力」を養う。  
自分たちが暮らす「地域」の人たちと連携することで、地域との交流を図り「地域で子どもを育てる」風土を形成していく。
- ◇内容 子どもたちに、様々な体験が味わえる内容の事業を展開する。  
事業は、原則として土曜日や長期休暇等。  
暁天座禅、科学実験、スポーツ教室、国際交流、もの作り体験等
- ◇運営 各事業の講師等に積極的に地域住民に関与してもらう。  
学生、団体等のボランティアを積極的に受け入れる。

「さとしょう未来塾」は、地域の方々、地元企業、多くのボランティアの皆様のお力添えをいただくことで実施できております。  
厚くお礼を申し上げますと共に、引き続き、ご支援ご協力をお願い申し上げます。



「里ちゃん寺子屋」の様子



「チャレンジ・ワールド」  
しめ縄作りの様子



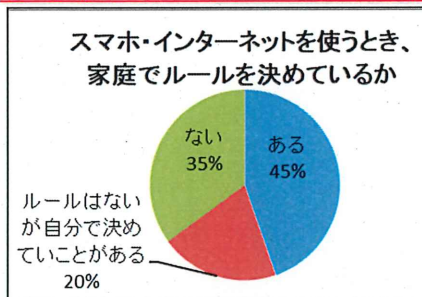
「チャレンジ・ワールド」  
陸上教室の様子

## 里庄町の子どもの様子（スマートフォン・ゲームの実態調査より）

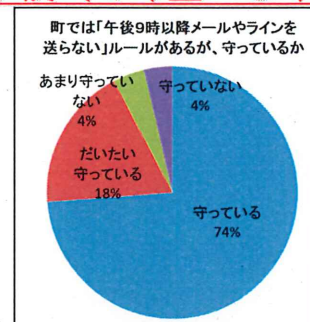
里庄町教育委員会では、毎年、スマートフォン・ゲームの使い方についてのアンケートを実施しています。今年度は12月に、小学4年生から中学3年生までの子どもたちに実態調査を行いました。その結果から気になる質問項目について紹介します。

子どもを守るのは、社会の大人全体の責任です。子どもの一番身近にいる大人として、まずは、家庭内のルール作りについて取り組みましょう。ご家庭で、お子様としっかり話し合っ、子どもも納得するルール作りを進めてください。  
(文責：天野 正彦)

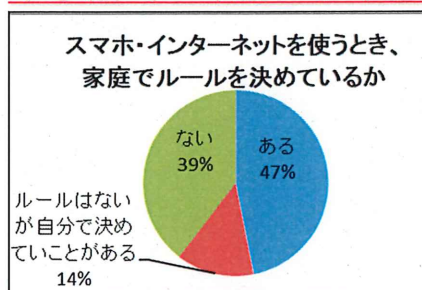
### 小学校（4年生～6年生）



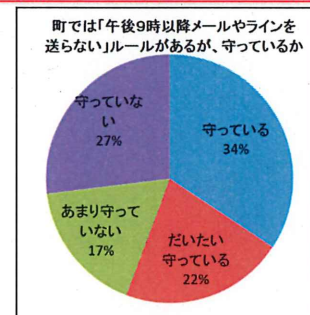
### 小学校（4年生～6年生）



### 中学校（1年生～3年生）



### 中学校（1年生～3年生）



決めていない家庭が小中ともに4割弱

中学生になると守りにくくなる傾向がある

## スポーツ行事の再開



グラウンド・ゴルフの様子

今年度、社会体育事業関連では、様々な事業を再開しました。昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ行事はほとんど開催することができなかったため、スポーツ行事の復活に喜びの声が上がりました。

令和4年度里庄町生涯スポーツグラウンド・ゴルフ交流大会では、町内在住の60歳以上の方々を参加者として募り、多くの方々が参加してくださいました。参加者からは、笑顔が見られ、「コロナで活動が自粛されていたため、開催されて本当に嬉しい」とのお言葉をいただき、担当者として大変ありがたく思いました。



ソフトバレーボールの様子

令和4年度里庄町生涯スポーツソフトバレーボール交流会では、18歳以上の女性を対象に町内と町外から参加者を募り、大会を開催しました。試合に関しては、どの試合も白熱したラリーが見られ、チーム内で声を掛け合い、支え合う姿が印象的でした。町内チームと町外チームの方々が交流会を通じて親睦を深めることができよかったですと考えています。

これからもスポーツを楽しむ機会を提供し、参加してよかったと思っただけのように、スポーツ行事を盛り上げていきたいと思っいます。  
(文責：井上 仁)

## 令和5年はたちの集い ～大人としての自覚と社会人としての責任を抱いて～

これからの里庄町を担う人が晴れて成人の日を迎えられたことを祝い、里庄町では「はたちの集い」が実施されました。法律の一部改正により、令和4年4月1日以降、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。18歳を対象とした場合、受験や就職活動の時期との重複や保護者への経済的な負担などが懸念されました。そこで里庄町では、社会的にも精神的にもできることが大きく増える区切りの年に、改めて成人としての責任を自覚してもらうことを目的とし、今までのとおり20歳で集うことにしました。

今年は1月8日（日）に実施され、71名の参加がありました。式典は厳かに行われ、参加者代表が「当たり前の日々感謝しながら、大人としての自覚を持ち、責任のある社会人として、歩いていく覚悟でございます。これからも、それぞれが自身の目標に向かって、日々努力していきたいと思っております。」と決意を述べました。

式典終了後に行われたビデオレターの上映では、恩師からのお祝いメッセージや体育会の様子をまとめた動画が映し出されました。上映後には、タイムカプセルを持った恩師の登場があり、参加者から喜びや驚きの声があがりました。参加者は、旧友たちとの再会を喜びながら、大人の門出をそれぞれが祝いました。

皆様のご健勝と、一層のご活躍をお祈り申し上げます。

(文責：山本 博文)



町民憲章を朗読する様子



謝辞を述べる様子

## 新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現に向けて

学校施設は未来を担う子供たちが集い、一日の大半を過ごす大切な学び・生活の場です。本町では学校施設の老朽化が進む中、子どもたちの多様なニーズに応じた教育環境の向上と老朽化対策を一体的に進めていき「新しい時代の学び」を支える機能・性能・質的環境の改善を推進しています。

幼稚園施設では、幼児期における心身の発達に、とても重要な役割を果たす遊戯施設を、園児が遊びを通して自発性や独創性を学習するとともに好奇心を刺激しながら体力づくりが行えるような体育機能をもたせた複合型の遊具を約50年ぶりに更新しました。

(文責：淡路 尚久)



東・西幼稚園複合遊具更新



東小学校ランチルーム LED 化改修



西小学校体育プール塗装改修